

1 競争力の高い農水産業の振興

背景

- 地球温暖化の進行、予測困難な自然災害の発生
- 生産コストの上昇・高止まり
- 国（農林水産省）による「みどりの食料システム戦略」の策定・推進
- 鳥獣被害の深刻化（被害区域の拡大）
- 熊本地震や豪雨災害等に起因する漁業資源の減少



みどりの食料システム戦略についての説明資料（農林水産省作成）



鳥獣被害対策の実施



【農漁業者の意見・視点】（参考資料2参照）

自然災害や地球温暖化への対応、生産技術の向上と産地の形成、生産性の向上、生産コストの低減、有害鳥獣駆除の充実、環境の変化に対応した漁業の推進、ノリ乾燥工程の委託加工 など

主な検討ポイント

- 農水産業の生産性の向上と持続性の両立
- 鳥獣被害の防止・軽減
- 環境の変化に対応したノリ養殖業
- 漁場環境の改善、漁業資源の管理・回復



自動操舵トラクター

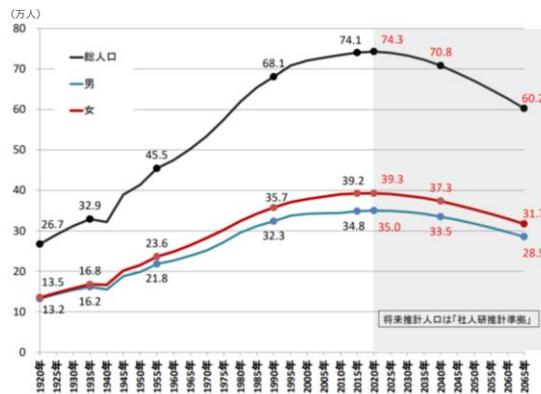


二枚貝類保護試験区の設置

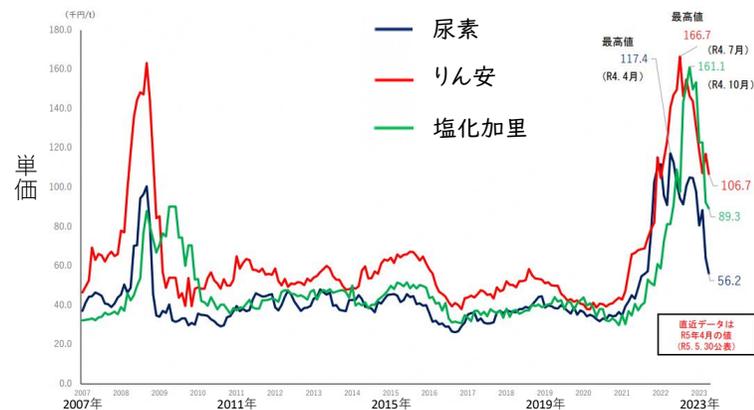
2 しなやかで強靱な経営基盤の確立

背景

- 人口減少の進行
- 農漁業従事者の減少と高齢化
- 農漁業施設等の老朽化の進行
- 自然災害や社会情勢などの外的要因による経営リスクの顕在化



熊本市の人口推移及び将来推計人口
出典) 熊本市人口ビジョン(令和2年3月、熊本市)



肥料原料の輸入価格の推移
出典) 肥料をめぐる情勢(令和5年5月、農林水産省)

【農漁業者の意見・視点】(参考資料2参照)

長期的かつ安定的に働ける場と働きやすい環境づくり、新規就農者の営農定着、雇用の維持・創出、基盤整備事業の着実な実施、農地の集約化、漁港施設の整備、稼げる仕組みづくりと安定した収入の確保 など

主な検討ポイント

- 認定農業者や認定新規就農者などの育成・確保
- 農地の集積・集約化等
- 国土強靱化の視点を踏まえた災害や環境変化に対応できる生産基盤づくり
- 整備済みの生産基盤の適切な維持管理と計画的な更新
- 経営体のリスク対応力の強化



就農営農相談会の開催

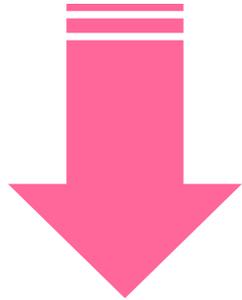


排水機場の整備

3 農と食の魅力創造

背景

- 生産コスト（生産資材価格高騰や高付加価値化に係る経費）の上昇が販売価格に転嫁されにくい環境
- 農水産物輸出の機運の高まり
- コロナ禍を契機とした通信販売や農産物直売所のニーズの拡大



【農漁業者の意見・視点】（参考資料2参照）

消費者の農水産業への理解醸成、再生産価格の確保、ブランド力の強化、海外販路開拓、戦略的なプロモーション、農業と他業種との交流、直売所を活用した消費者との交流促進や農産物のPR など



海外販路拡大に向けたサポートセミナーの開催告知（熊本市作成）

主な検討ポイント

- 適正な価格形成を目指した国内外の販路開拓・拡大
- 多様な手法や媒体を活用した効果的な情報発信
- 道の駅や農産物直売所の活性化等による地産地消の推進



SNSを活用した情報発信



道の駅「すいかの里 植木」の店内の様子